

秋彼岸法要の

お知らせ

九月二十一日(水)に善光寺秋彼岸法要を執り行います。法要導師は山主黒田武志住職、法話は千葉県柏市龍光寺住職佐藤俊明老師です。なお、法要は午前と午後二度にわけて行いますので、なるべく指定の時間にお出まし下さいますようお願い申し上げます。

総和会東北大会で

黒田住職が講演

六月二十三日・二十四日に岩手県一関市で開催された総和会東北大会で、黒田武志住職が「法燈は海を越えて」と題して講演しました。大本山總持寺から齋藤信義監院老師、宗務総長伊東盛熙会長が来賓として出席し、約百六十人の参加者の中には若い僧侶も多く盛況で

した。村上春雄大会会長は、「現場で実際に活動している方のお話を聞こうと、横浜善光寺の黒田さんと呼んだ。善光寺の育英事業は本来、宗門としてやるべきことで、それを一カ寺でやっておられるのは大変なこと。その実践現場からの生の声を若い人にも聞いてもらい、有意義でした」と語りました。

奈良康明教授が

駒澤大学学長に就任

駒澤大学では阿部肇一前学長の辞任に伴う学長選挙で七月一日、無競争となっていた佛教学部の奈良康明教授(64歳、善光寺留学僧育英会理事)に対する信任投票が行われ、圧倒的な信任を得て当選しました。

奈良新学長は昭和四年十二月二日生まれ。東京大学大学院人文科印度哲学修士課程卒。カルカッタ大学大学院比較言語科博士課程終

了。文学博士（東京大学）。昭和三十六年四月から駒澤大学に奉職、副学長を経験。

東 隆眞先生、 台湾の学会へ

横浜善光寺留学僧育英会理事・東隆眞博士（駒沢女子大学教授）は、台湾の華梵文科工科大学（台北県石碇郷）の招聘をうけて、同大学主催第九回国際仏教育研討会で「仏教主義総合学園の理念と現実―わが駒沢学園の場合―」と題する研究講演を行った（七月十七日）。華梵文科工科大学は天台宗の尼僧・暁雲法師が創立した仏教系の大学である。

（本誌P112を参照して下さい。）

韓国・曹溪宗通度寺で

善光寺留学僧育英会国際講演会

来る十月二十四日から二十六日に、黒田理

事長をはじめ、古田紹欽博士（鎌倉・松ヶ岡文庫文庫長）、常務理事の佐藤俊明老師、理事の東隆眞先生の四氏が訪韓します。去る三月末に行われた善光寺留学僧育英会設立十周年記念式典に、韓国・曹溪宗通度寺の老天月下方丈が来賓として参列、記念講演をしていた。五月に老天月下方丈が、曹溪宗宗正（管長）に就任された祝賀のため赴くもの。二十五日（火）には午前八時から通度寺本堂において、善光寺留学僧育英会国際講演会が開催されます。

